

## 第24回とさ・子ども主体の学校生活づくりを考える会（通称りぐる会）

テーマ ～豊かに生きよう～今を 明日を 将来を～ 報告

令和7年8月4日（月）、「第24回りぐる会」は、「高知会館」5階で開催されました。

- 1 出席者は31名です。内訳は特別支援学校18名、特別支援学級4名、通級指導教室1名、市職員2名、助言・事務局等合わせて6名でした。なおこの中には、高知市外の特別支援学級の先生と小学校の教頭先生も含まれています。
- 2 話題提供の一つ目は、元千葉市立金沢小学校長 千葉 秀雄さん（YouTuber「元校長チーバちゃんねる」開設）による、「会心の人生、会心の单元」。動画等流す準備ができていなかったのですが、思いっきり元気の出る講話をしていただきました。37年の教師人生、今日に満足し、明日を楽しみに待つ日々を子どもも教師も求めて……。特別支援教育の魅力満載のYouTube、ぜひ、「みなさんご登録を」など、お誘いトークもありました。高知に「りぐる会」があるように、千葉にも「すすむ会」ができたとのことでした。
- 3 弁護士 中橋 紅美さんによる“KUMIちゃん講座”は「知的障害者や発達障害者の責任能力について」のテーマで話がありました。責任能力とは、悪いと分かり、やめることができたか、であり、障害があるから、手帳を持っているからではない。個別のケースごとにその時、その場面で判断される。学校現場で、日常的に記録を取っておくことが大切になるとのお話でした。
- 4 全特連機関誌「特別支援教育研究」7月号及び本県の広報誌「もりりん」に掲載された知的障害学級の実践「南海トラフ地震に備えちよき」や「木の葉のテーブルのリニューアル」が事務局より紹介されました。
- 5 「懇親会（お客）」は、高倉誠一先生による乾杯の音頭でスタート。あちこちに小さな輪がいくつもでき、講師を囲んで話しこんだり、仲間同士実践を出し合ったり、なかなかの盛り上がりでした。  
次回は、令和8年2月ごろを予定しています。 令和7年8月 「りぐる会」事務局

SVN04 八葉

- 一 子ども主体
- 二 続ける
- 三 実践をベースに高め合う
- 四 柔軟な対応
- 五 仲間を増やす
- 六 あせらず じわじわと
- 七 功を求めず
- 八 本音で語ろう



\*「りぐる」とは 土佐弁で ①いつもよりがんばる 念入りに ②筋を通して、軸をぶらさない です。文：事務局